

システムの名称：FGi。システム

第1章 システムの基本的な考え方

1. 1 システム開発の背景

在来木造住宅は、数多くの優れた性質を持ち、長い伝統に培われた住宅であるが、その生産供給システムについては他の工法に比べ著しく遅れている現状にある。このような状況に対して、木造住宅の受注・設計・施工の合理化が強く求められている。ロイヤルウッドでは在来工法の合理化を進め、単なる新工法ではなく、受注から設計、施工、アフターメンテナンス、保証まで含めたトータルなシステムとしてまとめた。

1. 2 システムの名称

「FGシステム」は“FUTURE GENERATION SYSTEM”の頭文字。未来世代の住宅供給システムとして開発し、未来に向けて進化し続けるという思いを込めて付けた名称である。

1. 3 システムの目的

ルールを明確にすることで社内情報の共通化、業務の標準化を図り、工場生産率を高めて現場作業を簡素化することで工期を短縮して総合的なコストダウンを実現し収益性の向上を図る。また、現場施工を削減し、高いレベルでの品質を確保する。

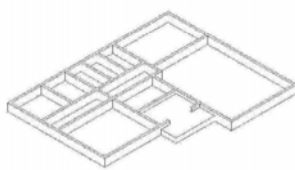


図1-1 基礎

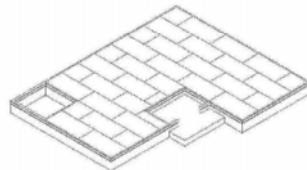


図1-2 1階床組

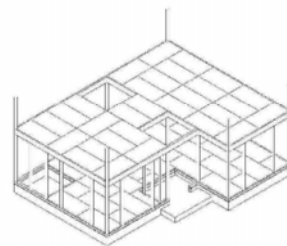


図1-3 2階床組

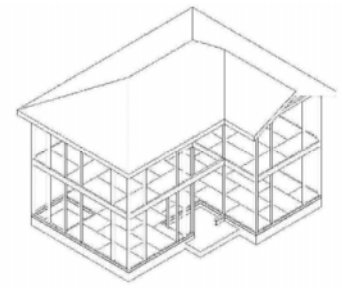


図1-4 小屋組

第2章 システムの概要

2. 1 各種ルールを定め業務を標準化

プランニングルール、架構ルールを定め、部材を標準化することでシステム全体の秩序を生みだし、生産性だけでなく品質の向上を図っている。

(1) 基本ルール

- ①原則としてメーターモジュールを採用
- ②柱と柱で大梁の両端を支えるポスト・アンド・ビーム工法
- ③4.5m×2.0m以下のグリッドを組合せて平面を構成

(2) その他のルール：開口、吹抜、下屋・セットバック等

(3) 架構ルール：各部の高さ、基礎、構造部材、スパン

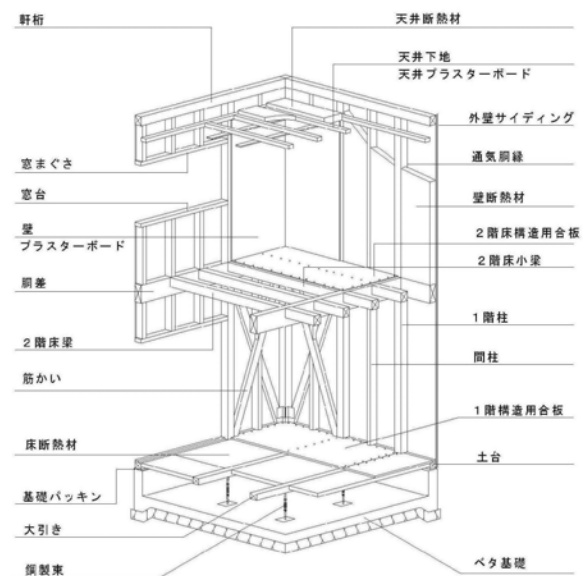


図2-1 システム概要図

2. 2 ITを活用し業務を効率化

設計の基本情報はCADセンターにて一元管理し、営業段階のプレゼンテーションから各種図面や見積書、その他の社内文書をコンピュータで処理。拠点間のやり取りは e-mail を使用して業務を効率化している。

2. 3 工場生産化により効率化と品質の向上

構造材、羽柄材をプレカットして工場生産化率を高めることで現場作業を削減し、熟練大工不足に対処すると同時に、工期を短縮して、総合的なコストダウンを図っている。

また、構造材はAQ認証または、ISO取得プレカット工場で加工し、高いレベルでの品質安定を図っている。

2. 4 構造安全性、耐久性を高める

柱、梁の主要な構造材にエンジニアリングウッドを使用し、木材の欠点であるばらつきを無くしている。

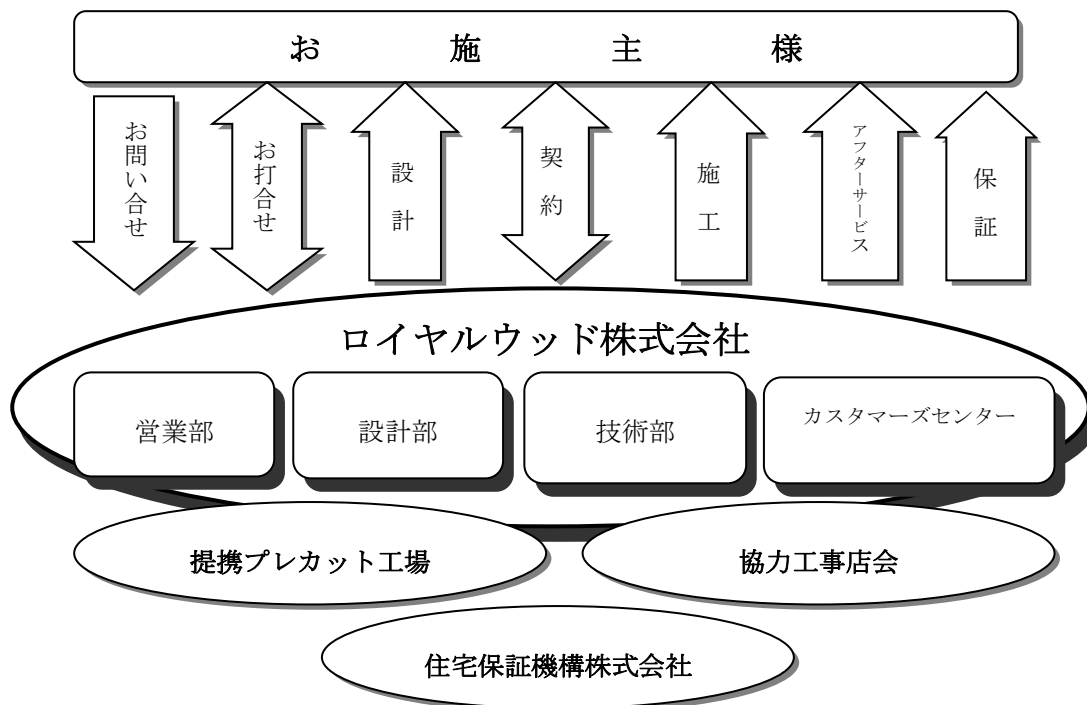
プラットフォーム工法を採用。構造用合板を直打ちし、水平剛性を向上させて、床根太及び火打ちを省略している。また、施工の安全性と作業性を高めている。

2. 5 上棟作業の標準化により、現場作業及びデリバリーを効率化

上棟作業のスケジュールを標準化して、効率良く資材を搬入。プラットフォーム工法で床が先行しているため、上棟後の資材も、上棟当日、レッカーを最大限に活用して、単純荷役作業を軽減している。

第3章 供給体制について

営業・設計・施工・アフターメンテナンスまで一貫した供給を行っている。



第4章 維持管理について

4. 1 保証

住宅保証機構株式会社の住宅瑕疵担保責任保険を活用する他、自社基準による10年保証を行い、10年目に有償メンテナンスを行った場合は、10年間の継続自社保証を行う。

4. 2 維持管理

引き渡し後、1・3・6・12・18・24ヶ月経過直前に定期巡回を行い、無償で訪問検査・点検・補修を行う。その後、5年経過時以降は、5年毎に有償にて訪問検査・点検・補修を行う。また、一般社団法人住宅金融普及協会の「住まいの管理手帳」をお客様にお渡しして、自主管理を行って頂く。